

回 覧															

大分西部地域まちづくりビジョン フォローアップ会議通信 第2号

発行：令和3年1月15日 大分西部地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、「西部地域まちづくりビジョン」フォローアップ会議の内容についてお知らせするとともに、地域の現状や今後の取り組みについて共有していただくことを目的としています。

大分西部地域まちづくりビジョン
フォローアップ会議を開催しました。
令和2年7月27日（月）19：00
大道校区公民館 集会室

～議 事～

- ① 会議の位置づけについて
- ② ビジョンに掲げる事業の進捗について
- ③ 意見交換
- ④ 今後の予定について

(委員) 西部地区自治会、青少協、老人クラブ、学校関係等、全15名



フォローアップ会議とは

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため市内13地域において、地域が目指すまちの将来像（ビジョン）やその実現に向けて取り組みをまとめた地域まちづくりビジョンを策定し、平成30年7月に市長に提言しました。

フォローアップ会議では、ビジョンの実現に向けて市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため「行政に望むこと」「地域や私たちができること」をテーマにビジョンに掲げる事業の進捗状況を報告し、その進め方や課題などの情報共有、意見交換を行います。

大分西部地域が目指すまちの将来像「自然と文化が共存 心躍る西部タウン」

<将来像実現に向けた4つの提言>

- 提言1** 暮らし/住み続けたい地域、住んでみたい地域づくり
- 提言2** 観光/地域資源を最大限に生かした観光振興
- 提言3** 教育・スポーツ/豊かな自然環境での教育、スポーツ交流の推進
- 提言4** 防災/巨大地震の発生に伴う津波への備え

□地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗について(抜粋)

会議では、大分西部まちづくりビジョンに掲げる提言毎の事業の進捗状況について事務局から報告を行い、その後意見交換を行いました。

本通信では、提言毎の主な事業や意見交換の内容を掲載しています。

提言1 暮らし/住み続けたい地域、住んでみたい地域づくり

昨年度3月からのコロナ禍において、西部地区総合安全対策推進協議会、各地区の夏祭り、敬老会など様々なイベントが中止または、延期を余儀なくされています。

そうしたなか、日々の交通安全を期するため、西の台地区等では、青少年育成連絡協議会などが中心となり、児童の登下校見守り活動を続けています。

また、フォローアップ会議では、委員より、「駅南開発でマンションが立ち並び地域コミュニティが薄れ、顔が見えるまちづくりが困難になっている」という意見をいただきました。

「この問題は、他の校区でも同じ。西部地区全体が抱える問題でもある」と他の委員からも同様な話があり、今後の重要なテーマと考えます。



交通安全活動(西の台地区の様子)

提言2 観光/地域資源を最大限に生かした観光振興

大分市では、柞原八幡宮などの神社仏閣が持つ魅力を観光資源として情報発信していくことや、西部海岸地区(かんたん港園からうみたまごまで)の湾岸レジャーゾーンや観光・体験名所をいかに、国内外からの観光客等の誘致をめざすこととしております。

柞原八幡宮では、引き続き、国・県とも連携して保存修理事業を支援するとともに、昨年1月には、太宰府市、日南市などの九州11市町とともに、「歴史まちづくりカード」を作成するなど、魅力PRに力を入れています。



柞原八幡宮

フォローアップ会議では、委員より、「柞原神社の下の入り口から、本殿までの参道が少し薄暗く、人の気配がなく、不安を感じる」という意見があり、後日その旨を、神社側にお伝えしたところ「柞原八幡宮は、自然と社殿が一体となった神社であるので、その醸し出す雰囲気大切にしたい」という回答でしたので、お参りの際は、ぜひ、複数の方とその風情や情緒も楽しんでみませんか。

また、高崎山と田ノ浦ビーチのシェアサイクル設置を継続するとともに、昨年7月には、かんたん港園にも新たに設置しましたので、ご利用ください。

さらに、西部海岸地区の魅力を高め、観光客の増加などの新たな活力を呼び込むための「憩い・交流拠点施設」につきましても、「地域資源を活用した観光の促進」「来訪者と市民が集える憩いの場の形成」「地域特性に応じた自然・景観の形成」を基本方針に定め、実現化に向けた施策に取り組んでいます。

提言3 教育・スポーツ/豊かな自然環境での教育、スポーツ交流の推進

田ノ浦ビーチや祓川などの豊かな自然環境をいかした環境教育や海洋教育を推進し、青少年の健全育成を図るとともに、駄原総合運動公園に続き、西部スポーツ交流広場も整備し、地域のスポーツ交流を深めていくことにしております。



竹炭窯

《竹炭づくり》

八幡校区では、令和元年度に、コミュニティ助成金を活用して、祓川浄化用竹炭を作成する竹炭窯を整備したところであり、地元の小学校とも連携し、竹炭を利用した下水の浄化を通じ、環境について考えるきっかけづくりに取り組んでいます。



田ノ浦ビーチ

《清掃活動》

神崎校区では、大分市カヌー協会の協力のもと、田ノ浦ビーチで、毎年カヌーの体験学習を行うとともに、海岸の清掃活動に取り組んでいます。



西部スポーツ交流広場Aグラウンド(人工芝化)

《スポーツ交流》

西部スポーツ交流広場では、地域の要望に併せ、Aグラウンドの人工芝化を昨年に完了し、Bグラウンドの日除けを本年3月に設置する予定です。また、今後、多目的広場の駐車場整備についても進めていくこととしており、利用者ニーズに叶う交流広場をめざしています。

提言4 防災/巨大地震の発生に伴う津波への備え

別府湾沿いでは、巨大地震や津波などの自然災害を想定した避難対策を、日ごろから心掛けることが重要です。

昨年3月、津波が発生した際、近くの高台へ避難できるよう高崎山、うみたまご、田ノ浦ビーチに避難用の掲示板を設置しました。

フォローアップ会議では、委員より「津波が発生したことを知らせる『津波フラッグ』が、視覚的に効果があるので周知を図っては」との意見をいただき、早速田ノ浦ビーチに配備するとともに、今年の実開き時期には、市報等で周知を図っていくことにしております。



避難用の掲示板

【さらなるビジョンの具現化に向けて】

～「チームおおいた西部」発足～

《背景》

- ・地域が抱える様々な課題に対応するには、まずは、地域住民一人ひとりが改めて、西部地域の魅力などを共感できる取り組みが必要
- ・コロナ禍で地域の活力が損なわれないように、地域の創意と工夫のなかで、老若男女だれもが参画できる取り組みが必要

《目的》

西部エリア内で、野外活動、スポーツ等を行っている団体が連携して、名所探索やラジオ体操、スポーツ、収穫体験など、地域が有する施設や資源、歴史的財産などの魅力をいかした取り組みを実施し、**自治区や校区の垣根を超えた親睦を通じ、西部タウンの連帯感を高める**ことを目的としています。

★西部地域スポーツ・健康づくり団体等の代表者会議開催

昨年10月27日(火) 大分西部公民館にて各校区のスポーツ・健康づくり団体の代表者による会議を開催し「チームおおいた西部」を発足し、2年に1度、結集して交流イベントを行うことにしました。



《チームおおいた西部構成》

- ・春日まぢめぐりウォーキング会
- ・おおみちふれあいクラブ
- ・西の台あいあい倶楽部
- ・歴史探歩会
- ・大分県ライフセービング協会
- (R3、7月に交流イベント開催予定)

★「ふれあい市長室」開催

市長自ら地域へ伺い、「地域まちづくりビジョン」に関わる各種団体の活動報告を受けるとともに、市政に対する意見や提言を幅広く聞き、相互理解を深める「ふれあい市長室」が、新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮するなか、昨年末(12月14日)に開催され、「チームおおいた西部」の皆さんと意見交換を行いました。



団体を代表して、荒井(西部地区自治会連合会)会長からあいさつをいただいた後、各団体の活動をそれぞれの代表者に報告していただきました。

意見交換会では、スポーツクラブの運営に対する支援、田ノ浦ビーチに通年利用可能な施設の整備、柞原(八幡宮)近辺にある石橋の史跡整備など、様々な視点からの意見がありました。

■本回覧物は、大分市ホームページにも掲載しています。 ■お問い合わせ：大分市西部公民館 TEL543-4938